

研究課題名	頸管ポリープ合併妊娠に対する周産期アウトカムの検討
研究の意義・目的	頸管ポリープは妊娠中に比較的高頻度に認められる疾患である。妊娠中の頸管ポリープに対しては、切除による術後出血や感染、早産リスクの増加が報告されていることから、近年では保存的管理を選択されることも増加している。しかし、保存的管理下において、どのような症例が早産や頸管縫縮術を要する周産期予後不良に至るのかについては、十分なエビデンスが確立されていない。本研究により妊娠経過中に早産や頸管縫縮術を要する周産期予後不良と関連する臨床的因子やポリープの特徴を明らかにすることを目的とする。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日 ~ 2028年12月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	大阪公立大学医学部附属病院女性診療科において、2016年4月~2025年12月に分娩に至った経管ポリープ合併妊娠症例。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者基本情報：年齢、身長、体重 ② 周産期事象：妊娠回数、妊娠方法、周産期合併症 ③ 周術期情報：分娩方法、分娩週数、出血量 ④ 頸管ポリープ(診断週数、ポリープ径、退縮の有無、出血の有無)
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学で行います。 【研究責任者】 栗原 康
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学 担当者氏名：栗原 康 電話番号：(06) 6645-3862